

認知症ケア特別研修Ⅱ 食事ケア

開催要綱

趣旨 認知症ケアの中でも「食事」に焦点を当て、心身や食行動の変化等や食とは何かについて学ぶとともに、実際の対応事例等を通して認知症の方の豊かな食事を支えるための工夫や方法を学ぶことを目的に開催します。

1. 食事ケアのスキルを高めます

口から食べることの大切さ、食べる喜びを引き出す食事ケア等について考え学ぶことで、認知症介護に携わる職員としてのスキルアップができます。

2. 認知症の方への食支援を実際の対応事例から学びます

実際に、認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）等などで行われている食支援の対応事例等から、食べるために必要な支援について改めて考えます。

3. いつでもどこでも、何度でも学べます

オンデマンド配信のため、配信期間内は、好きな時間に講義の動画を視聴できます。また、何度でも講義の動画を視聴できるため、復習のツールとしても有効で、学習効果が高まります。

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

認知症介護に携わる職員（社会福祉施設・社会福祉協議会等の職員）
*その他の公益法人等が経営する社会福祉施設・事業所等の職員で学習したい方も受講可能です。

配信期間

※別途、ご連絡します。

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 10,000円

申込期間

※別途、ご連絡します。

受講可否

※別途、ご連絡します。

プログラム

時間	研修科目	研修内容
約 90 分	講義 1 「認知症と食について」	食とは何かを考えるとともに、認知症の方の心身と食行動の変化や、疾患別に見た食行動の特徴について考え学びます。
約 120 分	講義 2 「豊かな食事を支えるためのケアについて」	認知症による困難さがあっても、心も体も満足できるような食支援について実際の対応事例等を参考に考え学びます。

講師

(調整中)

※本研修は、令和 2・3 年度に「認知症ケア特別研修～食事ケアを考える～」として実施した研修の名称を変更したものです。